

# P D C A チェックシート (平成 24 年度実績評価)

担当局	財政局
担当課	財産活用推進課
課長名	古澤

事業名	未利用市有地の一元管理と有効活用の促進事業				施策番号	
					V - 3 - (2) - ②	
事業概要	未利用市有地について一元管理を行い、処分可能な未利用地は売却を進めるなど有効活用を図ります。				事業手法	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 負担金 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> その他
	コスト	24年度執行額	25年度当初予算額	(事業費備考)		目安の金額
事業費		23,294 千円	49,073 千円		係長 1.60 人 職員 3.10 人	

## 【Plan】計画 → 【Do】実施 → 【Check】評価

目的	何を(誰を)どのような状態にしたいのか	公共利用のない未利用市有地について、積極的な売却を進め、維持管理経費の削減とともに自主財源の確保を図ります。			成果実績	成果の状況は下記のとおりです。	
代表的な成果指標	指標 (数値化できない場合は、目指している状態を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明と目標設定の考え方)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【成果の状況】	
	未利用市有地の売却額	2,504 百万円	1,500 百万円	1,478 百万円			
	自主財源の確保のため、未利用市有地の積極的な売却を推進します。経営プランで定めた集中取組み期間中2年間で30億円の売却目標額に準じて、平成24年度においても、年間の売却目標額を15億円としました。 (最終目標と目標年度)継続的な取組みのため、単年度の目標を定めています。			98.5 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	代表的な成果指標の実績などを参考に、成果の状況をチェック	
	(最終目標と目標年度)	%	順調				

活動計画	様々な手法による売却情報の発信や入札不調物件の最低売却価格の減額など全市を挙げて積極的な取組みを講じるとともに、物件の掘り起こしや商品化により売出し件数の増加に努め、売却目標額の達成を目指します。	活動実績	活動実績は下記のとおりです。			
活動指標	指標 (数値化できない場合は、活動内容を文章で記載) (上段: 指標名 下段: 指標の説明)	23年度実績	24年度目標	24年度実績 (達成率)	→	【活動の状況】
	売却情報の積極的な発信	59 件	60 件	40 件		
	情報誌の配布、市政テレビ・ラジオの広報、日刊新聞へのチラシ折込、現地の看板・幟の設置、住宅展示場での広報など様々な手法で情報の発信を行います。			66.7 %	大変順調 順調 やや遅れ 遅れ	活動指標の実績を参考に、活動の状況をチェック
	未利用市有地の売出し件数の確保	66.7 %	順調			

## 【Check】評価(分析)

分析及び課題の整理	【成果の状況】 【活動の状況】 を踏まえた分析 ※事業手法の有効性、外部要因などの視点	・売出し件数は、近年、順調に売却が進んだことや新規の物件が少なかったことから目標には届かなかったものの、積極的な情報発信などに努め、売却促進に取り組んだ結果、売却額は、ほぼ目標額に近い額となりました。
	「経済性」(同成果を低コストで) 「効率性」(同コストで高成果を) の分析 ※民間活力導入の視点	・14億7,800万円の売却額に対して、コストは約6,945万円(職員人件費46,150千円、事業執行額23,294千円)です。経費等の節減により、前年度比で約500万円の減となっています。今後とも土地売却に必要な調査の効率化などにより経費削減に努めます。 ・平成16年度から民間の宅地建物取引業者3団体と媒介協定を締結し、これまでの実績は4件です。

以下、予算案作成時に記入

## 【Action】→【Plan】 上記の評価結果と、予算案作成時点までの事業の状況を踏まえて記入

見直し状況等	課題	26年度の活動計画(見直し内容)
		その結果目指す成果(26年度の成果目標)